## OCC メディカル・カフェ ニュースレター 『賢明な寛容:the wise patience』 第9号 2023年9月 発行『お茶の水メディカル・カフェ in OCC』

ニュースレター第9号をお届けいたします。 今号は樋野先生のお言葉とスタッフの山﨑が担当します。

## 『人生の邂逅の流れ』 ~ 『歴史が教えにやって来る』 ~

樋野興夫(順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長、恵泉女学園理事長)







2023 年 9 月 16 日『お茶の水 (OCC) メディカル・カフェ』に赴いた。個人面談も 3 組 あり、大変貴重な時であった。 昨年 2022 年 11 月 11 日の 『日光東照宮 紅葉』に同行された お母様、娘様も参加されていたので、今年 2023 年 12 月 6 日予定されている、東京湾での『樋野先生 たびの会 屋形船の夜』について、さりげなく紹介した。【浅草で乗船をして、隅田川の橋巡りをしながら お台場まで夜景を楽しみながら食事を楽しんでいただき、カラオケも歌いたい放題の 2 時間半です。】とのことである。実現したら、人生の良き思い出となろう!

【新島襄(1843-1890)は、アメリカのアーモスト大学で、後に札幌農学校教頭となるウイリアム・スミス・クラーク(William Smith Clark、1826-1886:『少年よ、大志を抱け』1887年札幌農学校のクラーク博士の言葉)から授業を受けた。 新島襄は、クラークにとっては最初の日本人学生であり、この縁でクラークは来日することとなった。1872年、新島襄は、アメリカ訪問中の岩倉使節団と会う。 新島襄の語学力に目をつけた木戸孝允(1833-1877)は、通訳者として使節団に参加させた。 密航者として渡米した新島襄であったが、初代の駐米公使となった森有礼(1847-1889)によって正式な留学生として認可された。 勝海舟(1823-1899)とも出会っている。】も語った。『歴史が教えにやって来る』を実感する。

『お茶の水 (OCC) メディカル・カフェ』は、東日本大震災の 2011 年に創設準備がなされ、2012 年に当時 OCC 副理事長であった今は亡き榊原寛先生が始められた。

(次ページへ続く)

## (前ページより続き)

榊原寛先生は79歳でご逝去された (2020年12月24日)。 私は、『順天堂大学医学部 病理・腫瘍学教授』時代の2012年5月26日(土)に0CC(お茶の水クリスチャン・センター)での第1回『お茶の水(0CC)メディカル・カフェ』に赴いた。今回、山崎製パン株式会社の飯島延浩社長と0CCの隣のレストランで、『がん哲学外来・カフェ』について面談し、榊原寛先生を紹介されたのが鮮明に思い出された。『不思議な人生の邂逅の流れ』である。終了後のスッタフ会議では、来年(2024年)『12周年記念誌』の製本で大いに盛り上がった。

今年の夏はまれにみる猛暑、酷暑で外に出ることも難儀な毎日でした。OCC カフェは開催が 13 時と、暑さがピークの時間帯で、おいでになることがかなわなかった方もいらっしゃったと思います。

樋野先生の面談もメディカル・カフェも、今まさに必要な方がそこにいて、必要な役割を果たされる方、必要なことを得る方が出会っていると感じています。いつも魔法がはじけだす瞬間を目撃しています。 これからも必要として導かれる方々がお見えになることと思います。ただただ門を開けて、空っぽの器を囲みながらスタッフ一同お待ちしております。

12月には OCC カフェ 11 周年記念講演とゴスペルシンガーの三上勝久さんをお呼びしてクリスマスコンサートを開催します。ご都合のつく方は是非お足をお運びください。

また 10 月末には韓国で初めてのメディカル・カフェ in ソウルが開設され、樋野先生とスタッフの青木と森がソウルへ赴きます。何度も日本にいらして、何年も構想を練られその実現に至った平田様には頭が下がります。言葉を超えて、樋野先生の哲学がそして得意のユーモアが韓国の方々に伝わることを心から祈っております。

お茶の水メディカル・カフェ in OCC スタッフ 山﨑智子



